

事務所 〒690-0874 松江市中原町167-1-3F TEL 21-6143 FAX 31-8985  
HP: <http://www.matsue-rotary.jp> E-mail: [office@matsue-rotary.jp](mailto:office@matsue-rotary.jp)

### 第 3380 回例会 (令和 5 年 3 月 1 日・水)

#### 今週のプログラム

3 月 1 日 (水) ゲストスピーチ

「不昧公ゆかりの茶室 菅田菴のご案内」

不昧流宗家 不昧会会長 ありさわかず お 有澤一男氏

#### 次週のプログラム

3 月 8 日 (水) ゲストスピーチ

「農業の課題はスマート農業で解決できるのか」

カンドーファームたじりかずてる(株)代表取締役 田尻一輝氏

#### ●●● 誕生月 ●●●

永通 烈志会員 3日 安部 克浩会員 5日  
菅野 秀生会員 6日 長野 真久会員 14日  
辻 謙次会員 28日

#### ●●● 出席 100%賞 ●●●

谷口 正人会員 9年

#### ● 例会変更のお知らせ

月 日	クラブ名	受付場所
3 月 9 日(木)	平 田	ホテルほり江
3 月 16 日(木)	松 江 東	ホテル一畑
3 月 20 日(月)	松 江 南	松江エクセルホテル東急
3 月 23 日(木)	平 田	ホテルほり江
3 月 30 日(木)	松 江 東	ホテル一畑

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため状況により急遽変更（ビジター受付なし）もございますので事前に事務局へ確認願います。

#### 2023年3月の予定 (★衛星クラブ含む)

- 3 月 1 日(水) 定例理事会  
3 月 4 日(土)～ 5 日(日)  
会長エレクト研修セミナー (PETS)  
ホテル一畑  
3 月 12 日(日) 第3・第4・第5グループ合同  
Intercity Meeting  
13:00～17:30  
ホスト：松江東RC  
会 場：ホテル一畑 平安  
3 月 15 日(水) 職場訪問例会 (第2回)  
13:00～17:10  
中国電力島根原子力発電所  
(松江市鹿島町)  
食事を済ませてバスにて移動  
※ 3 月 22 日(水) 休会

### 第3379回例会記録

令和 5 年 2 月 15 日 (水・雪時々曇り)

	会員数 (人)	出席者数 (人)	欠席者数 (人)	出席率 (%) (出席免除会員含む)	前々回補正 (%) (出席免除会員含む)
松江クラブ	65	51 (リアルタイム 45/8)	14	87.93	91.67
衛星クラブ	10	5 (リアルタイム 3/2)	5	50.00	-

メーカー：永通 (松江しんじ湖)、景山、田中、河原 (理事会)

### 会 務 報 告

#### 佐藤会長

- 本日は会員スピーチ  
日本航空(株)山陰支店長 たなはし まなぶ 棚橋 学会員
- 衛星クラブ紹介 (3名出席)  
あおき よしちか 青木義親会員、うえだ こ 上田まり子会員、くわばら まさき 桑原正樹会員
- 松江しんじ湖クラブ 中村寿男会員より会葬御礼挨拶

#### 田中幹事

- 次週2月22日(水)は休会です。  
次回例会は3月1日(水)です。  
3月1日例会終了後、定例理事会開催

### 委 員 会 報 告

- 親睦・出席委員会  
出席報告

錦織会員

### プ ロ グ ラ ム

「『未来の空のために』  
持続性可能な社会を目指して」

日本航空(株)山陰支店長 たなはし まなぶ 棚橋 学氏

# ニコニコ箱

18,000 円

松江しんじ湖：中村（ご会葬いただきありがとうございました。）

佐藤、大野、原田、山尾（棚橋会員のスピーチに）  
舟越（この度、佐藤会長並びに庄谷会員の工事先が「しまね景観賞」を受賞されました。おめでとうございます。弊社も受賞いたしました。加島元会員と一緒に表彰式に

参列しました。加島さんから皆様に宜しくお伝え下さいとのことでした。）

細田（誕生日、結婚月、入会月）

ベストメッセージ賞：該当者なし  
司会 山尾義己会場監督

## 松江ヤングリーダーズロータリー衛星クラブ単独例会

令和 5 年 2 月 25 日（土・曇り時々小雨） 14:30 ~ 16:30 宍道湖西岸なぎさ公園

	会員数（人）	出席者数（人）	欠席者数（人）	出席率（%）
衛星クラブ	10	4	6	40.00

出席者：勝谷有史議長、仙田利夫幹事、大谷聡介会員、桑原正樹会員  
衛星クラブ2月例会報告

2月25日には、出雲西高校のインターアクトクラブと衛星クラブが合同で、宍道湖湖岸に生息する多様な生き物たちの住処となっているヨシの刈り取り作業を行いました。

このヨシは冬になると地上部分は枯れ、地中の地下茎が残り越冬します。しかし、枯れたヨシはやがて腐れていき、水質悪化の原因となるため、定期的な管理が必要です。

高校生のみなさんと一緒に作業をすることで、宍道湖の環境について考え、ふるさとの自然環境に貢献できたと思います。刈り取ったヨシは、宍道湖水環境改善協議会（事務局：松江市環境エネルギー課）の方々に引き取られ、名刺やメモ帳、おりがみなどに再利用されます。

当日は、冷たい東風が吹く中での作業でしたが、一緒に動き出すとすぐに暖かくなりました。夢中になって刈りましたが、まだまだ刈り取る予定のヨシが残っていることに気づきました。

来年も、この活動に参加できることを楽しみにしています。宍道湖の美しい自然を守り、一緒に活動することで、私たち自身も成長できることを感じました。



### ひとこと 随想

## 先鋭的教育・研究の創出

材料エネルギー学部の設置



ほつ とり やす なお  
服 部 泰 直

「ひとこと随想」への寄稿の機会をいただき、ありがとうございます。久しぶりの寄稿であり、貴会への貢献が乏しいことをお詫び申し上げます。

さて、今年4月に工学系の「材料エネルギー学部」が島根大学に設置されます。県内の多くの方々に注目して頂いていることに感謝申し上げます。入学定員は80名で、すでに特別入試により28名が合格し、今後、一般入試を経て第一期の入学者が決まります。

「材料エネルギー学部」の特色を紹介させていただきます。教育・研究領域は、先端金属材料、無機・有機材料及び生体材料に特化し、これらの領域をデジタル・ツインによって研究・開発できる人材を育成します。そのために、専門科目と共にプログラミング教育を徹底します。また、アントレプレナーシップを学部運営の基盤と位置付け、学生だけでなく教員もアントレプレナーシップが身に

付くように取り組みます。学生は初年次に必修科目として実践的にアントレプレナーシップを学びます。東京大学産学協創推進本部・スタートアップ支援部のディレクターを本学の客員教授として招聘し、その方の指導に基づき体系的なアントレプレナーシップ教育を構築しています。

また、オックスフォード大学のRoger Reed教授、ケンブリッジ大学のCatherine Rae教授やヘルシンキ大学のTENHU Heikki Juhani教授等を客員教授に迎えるなど、グローバル教育の充実を図ると共に、地域経済の専門家を民間から専任教授に招聘し、地域貢献の体制も整えました。

入試では、本学で初めて女子枠（6名）を設定したところ、6名の合格者が決まっています。また、地域枠を含めた特別入試（以前の推薦入試等）の定員を入学定員の40%とするなど、入試改革にも取り組んでいます。

島根大学では、地域や社会のニーズに対応した機能強化を進めており、材料エネルギー学部の設置はその一環です。島根大学の教育・研究についてご理解いただき、ご協力、ご支援を賜れば幸いです。（大学）